

科目名	ヒューマンバイオロジー								
英文科目名	Human Biology								
担当教員	野部裕美、樋口桂								
授業形態	講義								
学年	1年	クラス	2	開講学期	前期	単位区分	必	単位数	2
ディプロマポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験に合格できる十分な学力と保健・医療・福祉分野における作業療法実践に必要な知識を持っている。</li> <li>・専門職として必要とされる基本的な技術・技能を修得し活用できる。</li> <li>・他者を尊重し協力してコミュニケーション・行動できる。</li> <li>・自らの能力を高める努力を惜しまず、新たな課題にチャレンジすることができる。</li> </ul>								
授業の目的	<p><b>【授業目的】</b> 生命科学の基礎を学び、基礎専門科目である生物系の学問を理解するための土台となる知識を身につける。ヒトの構造や機能を学び、生物現象の本質を理解する。さらに、医学関連分野に応用できる知識および考える力を身につける。</p>								
到達目標	<p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトの生体を構成している細胞・組織の構造と機能について説明することができる。</li> <li>・生体を構成する物質について説明することができる。</li> <li>・遺伝子について説明することができる。</li> <li>・ヒトの生殖と発生について説明することができる。</li> <li>・生体内反応におけるエネルギー産生系、代謝反応系について説明することができる。</li> </ul>								
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の概要</li> <li>2. 細胞の基本構造と機能</li> <li>3. 組織の構造と機能1</li> <li>4. 組織の構造と機能2</li> <li>5. 生体を構成する物質1</li> <li>6. 生体を構成する物質2</li> <li>7. 遺伝子 DNA</li> <li>8. 細胞増殖と細胞死1</li> <li>9. 細胞増殖と細胞死2</li> <li>10. 生体を構成する物質と遺伝子と細胞増殖のまとめ</li> <li>11. 生殖と発生1</li> <li>12. 生殖と発生2</li> <li>13. 細胞内の代謝1</li> <li>14. 細胞内の代謝2</li> <li>15. 生殖と代謝のまとめ</li> </ol>								
学習演題 予習・復習	<p>1-2 回目：予習として、教科書 pp.21-46（第2章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>3-4 回目：予習として、教科書 pp.48-66（第3章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>5-6 回目：予習として、教科書 pp.3-19（第1章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>7 回目：予習として、教科書 pp.68-81（第4章）を熟読してくる。 復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>8-9 回目：予習として、教科書 pp.97-99、106-112（第5章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>10 回目：予習として、教科書（第1～5章）を熟読してくる。 復習として、授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>11 回目：予習として、教科書 pp.121-127（第6章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>12-13 回目：予習として、教科書 pp.129-142（第7章）を熟読してくる。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p>								

	<p>14回目：予習として、教科書 pp.233-253（第10章）を熟読してくることを。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>15回目：予習として、教科書 pp.224-231（第9章）を熟読してくることを。 復習として、教科書の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>各回の授業に対して予習・復習時間は、合計で4時間程度とする。</p>
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を中心に行う。</li> <li>・授業の中で確認問題を行い、その都度回答と解説を行う。</li> </ul>
成績評価の基準	定期試験(90%)、授業への積極的な発言(5%)、コメントシートの記載(5%)
教科書	「医歯薬系のための生物学：コアカリキュラムを基礎から学ぶ」小林賢、松村秋芳 ほか著、講談社、2018年2月、ISBN: 9784061536944
参考書	「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」和田勝 羊土社 2011年（第2版）
実務経験のある教員による授業	
実務経験の内容	-
実務経験の当該科目への活用	-